

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和元年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市どうぶつ公園協会
-----	---------------------

所管課	建設局 公園管理課
-----	-----------

団体に対するミッション
「到津の森公園」「ひびき動物ワールド」の指定管理者として、管理・運営事業を通じ、健康で豊かな市民生活の実現、都市機能の増進、自然環境教育を推進する。

行財政改革大綱における見直し内容
平成26年度から、到津の森公園の指定管理業務に特化した団体として、これまで以上に組織をスリム化し、安定経営に努めるとともに、動物園を運営する団体として、市民に分かりやすい名称に変更する。

ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	「到津の森公園」「ひびき動物ワールド」の指定管理者として、管理・運営事業を通じ、健康で豊かな市民生活の実現、都市機能の増進、自然環境教育を推進しながら、入園者数の増加（令和5年度までに39万人）を目指す。
-------------	--

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H27	H28	H29	H30	R1		R2	R3
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
どうぶつ公園協会の収支均衡	15,386千円	△ 12,979千円	30,983千円	△ 109,582千円	指定期間（R1～R5年度）での収支黒字	21,510千円	指定期間（R1～R5年度）での収支黒字	指定期間（R1～R5年度）での収支黒字
動物種数・飼育頭数	100種 500点	100種 500点	100種 500点	100種 500点	100種 500点	100種 500点	100種 500点	100種 500点
動物サポーター・到津の森公園基金の園内での支援勧誘活動・理事長等による支援受入金額	276万円	年4回 296万円	年5回 558万円	年3回 473万円	年3回 150万円	年3回 350万円	年3回 150万円	年3回 150万円
学習プログラム受入校数、参加人数	3,389人	48校 4,008人	51校 4,328人	45校 3,435人	40校 3,000人	50校 4,189人	40校 3,000人	40校 3,000人

ミッションの遂行状況の評価（令和元年度）

団体における評価	<p>到津の森公園・ひびき動物ワールドとも入園者数は前年度を若干下回ったが、有料入園者数がいずれも増加したため、入園料収入は増となり、結果的に収支は黒字となった。</p> <p>入園者に関しては、多言語ガイドシステムの導入等もあって、満足度98%と高評価を得ており、動物サポーター等の支援金、学習プログラムの受入数も、目標を大きく上回ることができた。</p>	市の評価	<p>入園者数は、到津の森公園では、前年度・目標値を下回ったものの、新型コロナウイルス感染症に伴う入園者減がなければ前年度・目標値を達成したと推測される。一方、ひびき動物ワールドでは、目標値を上回ったものの、前年度からは入園者減となっている。</p> <p>入園者数以外の利用者満足度、収支をはじめとする成果指標は、目標を達成しており、協会の良質なサービスの提供、経費低減、収入増加への取組が結果に結びついている点は評価できる。</p>
	<p>今後の課題及び見直し内容（案）</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、今後の見通しを立てにくい状況にあるが、引き続き、到津の森公園の知名度を上げ、広くその魅力を多くの人に知ってもらうため、SNS等を活用した広報活動を充実し、現在稼働を停止している観覧車の再稼働に向けての改修や園内の環境整備に取り組むなどして、園の魅力向上を図り、多くの市民、近隣住民及び観光客の来園と収入増につなげることとする。</p>		<p>団体への改善指導内容（案）</p> <p>入園者・収入増に繋がる取組として、魅力あるイベントや企画、時代の流れに即した効果的な営業・広報戦略、物販・飲食事業のさらなる充実を求めていく。</p> <p>また、ひびき動物ワールドと到津の森公園やグリーンパークとの連携について、実施に向けた働きかけを行っていく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	事業範囲を見直す団体
<p>北九州市行財政改革推進計画に掲載された内容の取組みは完了。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26.3.31で響灘緑地の指定管理業務を終了した。 ・到津の森公園に特化した団体として、組織体制及び職員配置を見直し、H26.4.1付で市民に分かりやすい名称として、「北九州市どうぶつ公園協会」へ名称変更した。 	